

東京歯科大学賞

昭和三十一年度受賞者決定 田熊助教教授らの研究業績

本学最高の学術賞として設定された、東京歯科大学賞昭和三十一年度受賞者の審査会は、去る十二月二十一日に本学会議室において行われた。すなわち、予め小委員会によつて推薦された計十篇の原著論文について全審査委員が慎重審査のうえ、投票の結果本学病理学教室田熊三郎助教教授他三名による左記の研究業績が最高票数を得て、受賞論文に決定された。

Some Considerations of the Microstructure of Dental Tissues Revealed by the Electron Microscope

右の論文は、アメリカの代表的歯科雑誌の一つである「口腔外科学、口腔治療学ならびに口腔病理学」第九巻第三号（昭和三十一年）に掲載されたもので、歯牙の電子顕微鏡用超薄切片を作製し、珥瑤質内有機質の分布状態、象牙質基質ならびに歯細管周囲の超微細構造に關し、内外学界に從來知られなかつた知見を初めて明らかにならしめたものである。

松宮教授ら著

「口腔病理学図説」

欧米学界で多大の反響を呼ぶ
アメリカ歯科医師会誌も賞揚

本学出版部発行の松宮教授、近藤鈴木、田熊、三助教、大沢講師著「口腔病理学図説(和英文解説つき)」は、新しい企画と優秀な内容とに於いて、従来に類例を見ないものとされ、国内はもとより、欧米諸国の学者臨床家からも多大の注目をあつてゐる。

とくに、アメリカ歯科医師会誌は本年六月誌上に、本書に対するつぎの書評を掲載した。

「(前略)この著書に掲載された多数の顕微鏡写真は、それぞれの内容鮮明さおよび種別において全く素晴

らしいものであり、ことに、強拡大像においてそれらが特別に目立っている(中略)しかも、この著書ははなはだよく整備されており、型式も勝利、紙質および装釘もまた素晴らしい。アメリカ歯科大学生諸君は、口腔病理学の勉学に際し、本書がきわめて貴重な指導書であることを必ず見出すに相違ない。」

「親愛なる松宮教授、(前略)このような壮麗かつ有益な図説を著述された貴下ならびに協力者各位に深く慶賀申し上げます。私は、貴書の完成をアメリカ国内に広く公表したいと思ひます。(中略)別便にて、貴下に対する私の心からの感謝の印までに、最近の自著二部を御贈りいたしました。教員」

ドイツマイヤー教授(ゲッチング大学歯学部部長)

「敬愛する松宮教授、(前略)貴下のきわめて優秀なこの図説を拜見したし多年顕微鏡を友として精進いたして参りました一学究者として、私は心からの感激を覚えました(中略)私は、貴下への感謝の印として、最近の自著一部を別便にて御贈りいたしました。どうか御笑納下さい。敬具」

そのほかイタリヤ歯科医師会誌およびデンマーク歯科医師会誌もまた最近号にそれぞれ本書に対する賞讃の辞を掲載し、これを広く国内に紹介してゐる。

なお、欧米諸国の著名教授らからも、本書に対する讃辞が多数寄せられており、主なるもの二、三を挙げるとつぎのとおりである。

アメリカ、パツフェンパーガー博士(米政府規程局歯科研究室主任、国際歯科医学会前会長)より、

「親愛なる松宮教授、(前略)このような壮麗かつ有益な図説を著述された貴下ならびに協力者各位に深く慶賀申し上げます。私は、貴書の完成をアメリカ国内に広く公表したいと思ひます。(中略)別便にて、貴下に対する私の心からの感謝の印までに、最近の自著二部を御贈りいたしました。教員」

近く発展的再発足の

東京歯科大学学会

会側改正を準備中

東京歯科大学学会は、昭和二十四年十二月に設立されて、一回を重ねること一四〇に及び、斯学の発展に多大の功績を印した。しかし、本学会の開催方法、会員組織、講演記録保存などについて、一部の改正を要望する声が最近に高まり、このため滞上会長は、去る十一月以降しばしば常任幹事会、または幹事会を召集して具体策を討議した。その結果、漸く改正案が纏まり、一月二十六日の臨時総会にて、これを審議することになった。

改正案の要点は、各年総会一回と例会三回を開催すること、機関誌を発行して会員に配布すること、会費を徴取することおよび、役員組織を増強することなどである。なお、本学会が再発足ののちは、出来るかぎり、同窓会総会および例会と日を重ねて開催し、多数同窓の参加に好都合となるように取計う予定である。

右のほか、アメリカ、グロスマン教授(ペンシルベニア大学)、オガル

「親愛なる松宮教授、(前略)このような壮麗かつ有益な図説を著述された貴下ならびに協力者各位に深く慶賀申し上げます。私は、貴書の完成をアメリカ国内に広く公表したいと思ひます。(中略)別便にて、貴下に対する私の心からの感謝の印までに、最近の自著二部を御贈りいたしました。教員」

其後土浦で同窓会支部をうかがい開いた時に先生の御出を願つた事があるのですが宴会の時に稲見例の磯浜のあの蚊を呼べとの事で、磯浜から呼びよせた事があります。補遺書生部屋に先生が来られた時は金彩英五郎博士が駿河公に病院増築の時で先生は近衛新(文賢氏父)の校田俱樂部の幹事をして居る時で金彩は上手でおれは名人さその次に満鉄の話が出たのです。

先生は洋行して茶園に行かれた時野口博士が微に入り細に入るかんたにい振にはその誠意はよろこばれてもこま／＼と世話されるのはいやであつた様な口吻を帰朝後もちられました。

翌朝水戸に行く自動車の中で昨夜は「立すにしましたつたよ」と他の人はよくして答へず。もつとも翌日は昨夜はどうのこうの得意になつて言いつらう事は最も先生のきらう処でした。

歯科医として群を抜きんずるには何か余技がなくては行かぬそうすれば目立つてゆくものだ。

花沢先生の思い出

住井 亀太郎

拜啓前略、花沢先生の記念出版をなさいますそうで、誠にうれしき芽出度事と衷心よりお喜び申し上げます。私にも、何か回想をとの御仰付では御座いますが、何しろ五十年も経過致しましたし、私は卒業以来終始一貫唯々臨床に明け暮れて七十才近い今日でも、毎日十時間以上保健患者に没頭しておりますので、仕事はけしませんが、昔の思い出として文筆に表現する程の事もありませんで御期待に添い得ないのは甚だ残念且つ申訳ない事と存じますが、あちこちからの御送りになつて重複するでしょうか、東京歯科大学の前身の齒科医専創立当時の第一回秋季大運動会の写真及び花沢先生のその当時の若かりし美男子の写真合計三枚御送り致しましたから之で私責任の一端を果させていただきます。何卒不悪御諒察下さいませ。

二 伸

花沢先生の思い出は、温いなつかしみを感ずるのみで、不快、冷淡、威恐等微塵も感じません。母親に接するような感じでした。私の学生時代は先生の二十六、七才時代ですから私のその当時の感じとしては姉、親切な温い姉に接触する感じのお人柄でした。明治三十八年頃先生がまだその頃としては先生が先鞭をつけられた位、顕微鏡写真をよく取つておられた水道橋は電車のよく通る所故、撮影の肝心の時ヒビクからオウ住井君机をシッカリ押さえてくれと申されお手伝いせし事がありました。先生のお声もとてもやさしい女性

のような声でした。先天的学者肌のお人柄でした。そうして権勢慾も利慾も名譽慾もない着実な研究家でした現代稀な人格者が在られました。以上乱筆ながら感想を述べました。(筆者は滋賀県八日市)

血脇先生の思い出

横山 八次

去る九月末現郵政大臣塚田十一郎氏業務視察のため福島県会津若松地方に來宿されました小生も東北地方特定局長会連合会会長として御伴しましたが猪苗代湖畔の高松宮御別邸から翁島の野口博士の御生家や記念館を拜覽しました折生家の庭前の一つの石碑に野口博士の御落になる *Honesty is the best policy.* の文字が刻まれておりました。夫を見た小生血脇先生の思い出今更新に併徘徊去るに不忍の情禁じ得ざるものがありました。

今を去る三十余年前私の町即長井町で鉄道の分岐点変更の大運動を起したことがあります大正十一年から十五年にかけて実に猛烈な運動をやつたのであります。丁度当時政友会内閣で所謂全国鉄道網と云ふものを決定し毎年秋に鉄道会議を開き翌年度着手の新線を決定したものでした血脇先生とは無二の御親友であり又母校財団の理事でありました木下謙次郎先生が当時鉄道省の勅任参事官として元田陸大臣と石丸重美次官との間で居中調停役を勤められて鉄道を決定されたものであります。小生は色々な事情で血脇先生からは特別の恩顧をいたゞいて居たので先生の大きいなる政治力と木下先生との御

関係によつてその鉄道網の一部変更していただく事につき御尽力を仰いだ次第であります。何分政府として一旦決定したものを変更することですから並一と通りのものであります。先生の御力によつて有力なる貴衆両院議員が動員されました。遂に大正十三年護憲三派内閣が誕生するに及び政友、憲政、国民三党の政務調査会に諮つて貰ひ他方宮城、山形新潟三県の代議士により仙台、山形新潟を結ぶ陸羽越後断続鉄道の実現の一環として長井の起点変更を物にする事となり政府としては自ら政府の案を変更することはむづかしいのでその了解を得て議員立法により鉄道布設法改正法律案を提出することになりました勿論夫には先輩石塚三郎先生憲政会の代議士として大活動下されたことは勿論であります。

かくして大正十四年の通常国会で衆議院は多数で可決貴族院に送られてから委員会を開くこと四回愈々五回目の委員会で決定して本会議に緊急上程して通過するかと思つたが会期末も迫り普通選挙とからみ合いその上政友会案と憲政会案とのかけ引きから遂に掘り潰しの憂き目を見るに至つたのであつた其の間貴族院の有力議員殊に一大勢力であつた研究会工作等は一重に血脇先生の政治的な御力によつてやつていたゞいたのであつた。当時先生は本問題に對し封を立てられた曰く君子豹変征即凶云々と現われましたこの間非常の御迷惑をおかけしたし又幾回となく食事を共にさせていたゞき先生の取つて置きの隠し芸等も幾日も拜見いたしました又私も随分歌ひました又幾多処世上の訓戒もいたゞきました「一年残念鉄道問題は失敗に終つたが沢山の健い人の嚆矢に接し得たことは君

の人間学の修養には余程裨益する処多かつたらう殊に君はほんとうに正直でよいその点は飽く迄も夫を堅持して世に処する様にと諭されました。而して記念に函面に書いて下さつたのが前記野口博士の碑文の様に *Honesty is the best Policy* であります今以て大事に保存して居ります爾來三十余年大いに考えさせられすものあり世に処するに堅くこの教えを守つて参りました。今回野口博士碑文字を見て何となく符節を合せた様で先生の御御陶になんらか因縁の浅からざるものを感じられたのであります。昭和四年五月亡父の遺志により医業を廃し三等郵便局長になりました昭和十年公選による山形県三等局長会長昭和廿一年東北連合会長となり今以てやらさて居り殊に二十二年から昨年一月迄全国特定局長会長に任ぜられて来ました。戦後の最も混乱した案でない時他方全通の機運な労働政勢はある特定局制撤廃問題は議会の問題となる特殊官吏たる局長が国家公務員法の一環として考へること、なる待遇問題給付問題局室問題制度の改正従業員の待遇向上等に重要問題山嶽でその解決には特定局長自身と云ふ局長会と云ふ団体の決議等により実現出来るもの何一つあるでなし凡てが交渉によるらねばなりません。相手は本省の各局部謀始め大臣次官国会その他又司令部各庁の保局主腦部でありますその折衝にあたり如何に苦勞したか容易の業ではありませんでした然し一回想たりともハツタリをかけたたりウソを述べたことはありません真正正明の裸でぶつかつたものであります正会の事務局長からはうちの會長は正直だからなと度々云われたものです。大した御役にも立ち得な

かつたかも知れないが静かに省みて政府を始め全国各僚諸君に對し余り御迷惑をおかけしなかつたと思ふ時血脇先生の御訓め如何に尊かつたと深く感謝申上げて居る次第であります。

以来先生の御宅とも深い交際をさせていたゞき山形の茅屋へも一度は御次男の芳雄さんと一度は西村先生白井先生等とわき／＼駕を枉げて下さいました又愚弟のため嫁の仲人迄していたゞきました。

明治九年明治天皇東北御巡幸の御名代として大久保参議に本町から最上川を舟で下られて民情視察をなした山形で陛下の御一行に加わられたその遺跡を御案内して寒河江の佐藤さん宅に立ち寄られた後上の山温泉に御案内申上げましたことも昨日今日の様です。参議の詠まれた「千草夏木雨痕蕪一棹孤舟下大川屈曲清流奇絶処米家山水是天然」の最上川の景勝を愛でつ、断崖を俾で下つたので途中我同窓宅を先生が御訪問せられたら国旗を掲げて待つて居れり御感激の余り声浪共に降るは余りと御挨拶されたに對し先生は長々我慢して聞かれた結果痔が飛び出して御困りになり途中で元々に納めるに大難儀遊され大笑いとなつたこと等もあり時々思い出しては腹を解くものも数々あります。外にも思い出されるものも数々あります。此の辺にて擱筆させていただきます。(筆者は大正三年卒)

血脇先生

稲見 精康

人を御せんとは御されよ
大阪に医学大会のあつた時に箕輪の公園にある料亭で話に談たまたま某県の會長に及び

「それでよく会長がつとまりますね」
先生曰く
「人を御せんとは御されなくてはいかない」と言われた事は終生の教訓と思つて居ります。

学位受領者紹介

山下又次郎君



山下又次郎氏は昭二卒の同窓で現
在武蔵野市一八八三に開業して居
れるが、かねて学位請求論文『根管
清掃に関する実験的研究』を慶大医
学部にて提出中であつたが、このたび
岡田滿教授主査の下に同大学教授会
をめでたく通過し、近く学位記を受
けることとなつた。

氏は昭和四年迄助手として母校に
勤務した後ライオン児童歯科で小児齒
科治療学を研究したが同年十月現住
地に開業し今日に至つて居る。昭和
十一年四月北多摩郡歯科医師会副会
長並びに武蔵野歯科医師会会長に就任
して活躍中十二年十月出征して支
方面に出陣したが、十五年一月凱旋
して開業に従事した。十八年十月再
度出征し、エトロフ島南地区隊長(大
尉)として勤務中終戦となり、捕え
られてウラジオに生活三ヶ年、二十
二年十月幸にも五体完全で帰国する

余りに琴線に触れすぎる
或時先生と逢を歩いている時に
先生曰く
「御前はあまりに人の琴線にふれ
すぎる」と言われた事があります。
(二面下段に続く)

ことが出来た。

永い捕虜生活にもひるまず、帰国
早々大陸はげの色直しとあつて、母
校の臨床を見学すること一ヶ年。二
十三年十一月から東歯大保存学教室
に専攻生となつて入学し、関根永滋
教授指導の下に今日の業績を成し遂
げたのである。

山下氏について色々敬服すべき点
があるが、先づ粘り強さで研究のた
めに自宅開業の傍、隔日の出席で孜
々として倦むこともなく、不平もな
く、はたの見る目にも羨しように、
吉祥寺の駅から足かけ九ヶ年間も通
学したわけで、今日の栄冠もその天
稟によつて得られたことは勿論であ
ろうが、この粘り強さが物をいつた
ことが確かであらう。極く平凡なこ
とながらその非凡な努力には敬服の
他はない。その他老書生を若い氣持
ちでやつてのけたこと、研究にも肉
弾で当つたこと、これらも氏の健康
がそうさせたのであらうが、然し青
り余る健康があつても仲々そうはい
かぬものらしく、氏なればこそよ
く出来たことであると思ふ。

も隆盛でその積極的な活躍は驚くに
値する。その他氏に羨しいものには
豊富な常識と豊かな情操から生れる
文筆とがある。又特に小児歯科に造
詣が深く、この方面の業績も多く、
今後その基礎方面に更に研究をす
めたいといつて居るが、氏は将来
に何を計画しているかわからないが
その前途には期して俟つべきものが
多々ある。

タカ子夫人との御家庭は頗る円満
唯お子さんのないのが惜まれる。
いうまでもなく氏は今日の栄冠を得
て、奥さんの内助に深い感謝を捧げ
ていることだらう。
氏の論文は上記論文の他に九篇あ
る。(北村勝衛記)

森山 徳長君



『モリヤマ、ノリナガ』と誠心
同君は昭和三年墨田区内に頭々の声
を挙げ両国高校(当時の府立三中、
同窓の先輩には関根教授・田熊助教
授らが入学される)を経て、昭和廿年
母校に入学された。昨年中わたしの
教室で学位を授けられた凱足、小樽
太田の三博士等と共に秋田県六郷町
に学校疎開して辛苦を重ねた組の一
人である。

り伯父に当る入江義次先生の影響も
あつて、基督教会の門を叩き信仰に
入られ、熱心なクリスチャンになつ
た。この期間が同君のその後の歩み
に与えた影響は実に大きなものがあ
つたとわたしは見ている。事実昭和
廿二年東歯専二年に編入、歯科医と
しての道をはつきり踏み出された後
当時CIE図書館で勉強された新着
の外国文献を携え私の処を訪れたの
が機縁となつて、私の教室の一員と
なられたのであつた。当時本学を訪
れる外国の賓客の応対にはいつも奥
村学長と共に當つたことは衆知のこ
とであらう。わたしの指導で完成し
た卒業論文『飢食の原因と予防に關
する唾液の役割について(英文)』が
授賞され、卒業式後の卒論発表、講
演は流暢な英語で行つて並居る人達
を驚かしたものであつた。在学中、
東歯YMCAのリーダーとしても活
躍されたが、その同僚堀内実君と天
野惠君は今米國に在つて活躍してい
る。

震災に前後して上京、本所太平町
五十嵐庭治氏のお世話で東京歯科医
学校に学び、爾後、本所錦糸堀で開
業して居られた飯父故徳藏氏の親心
で、私の教室に専属することとなり
昭和廿五年三月の卒業と同時に研究
科入学、廿六年三月研究科修了。廿
六年四月助手となつて、わたしの第
一号助手であつた帆足望博士や、一
期後輩の田辺明君らとも研究に
精進された。当時教室で取組んでい
た、飢食予防・弗素・斑状歯問題で
は既にオーソリテイである。

昭和廿七年秋、わたしは胸部疾患
で入院、手術し、満一年一カ月の療
養期間中、教室では唯一の専任助手
として、学生実習の指導に教室の切
り盛りにお実にわたしの留守を守つ

てくれた。病後、わたしが教室を復
興して今日の活況をもたらすことが
出来たのは、一に同君の努力に負う
所であつたと感戴している。
卅年四月講師に進み、わたしの片
腕として橋口・高添両君とともに、
多数の研究生の指導に研究に、多忙
な日々を送られたが、同年十二月飯
父が急逝されたので涙を吞んで第一
線から退き本所錦糸堀で開業される
こととなつた。というわけで、急襲
学位請求論文をまことめわたしの恩
師金沢医大谷教授のもとで提出中であ
つた所、昨年十一月五日金沢
大学医学部教授会を満場一致で通過
(主査谷友次教授、副査柿下正道教
授)越えて十二月廿八日学位記が下
付された。主論文は三編から成り、
数年来斯界のトピックであつたカン
チダの真菌学的研究、とくに口腔カ
ンチダ症に関する新発見につき、第
一編では分離並びに同定問題につ
いて得た新発見を、第二編では抗生物
質性黒苔菌の成因に就いて新假説を
たて、第三編では、カンチダの殺菌
物質、本症の治療法に關しての実験
成績、を記述した創期的なものであ
る。

今日同君時々の榮華を授けられた
ことは、一に同君、御家族およびわ
たしたに関係者一同の喜びであると
共に、今や天國に在る亡き父上のお
喜びたるや筆に尽せぬものがあるう
と感われる。

盛業を続ける多忙の中を、兼任講
師として週二回の登壇で、医院の一
室を施設して研究を続けられる若冠
二十八才の同君の今後一層の發展を
祈つて止まない次第である。(米沢和
一記)
○主論文一編
口腔 Candidiasis の真菌学的研
究(一―三編)十全医学会雑誌五
十八巻四号)

齋藤 季夫君



サイトウスエオと読む、君は昭和四年東京に生れ、都立江北中学校を卒て戦争も終りに近い昭和二十年に本学に入學、直ちに秋田県に疎開終戦を迎えたが、その頃より肋膜炎を患い一年間休学されたこと記憶している。しかし、その後は休も充分回復され二十五年に卒業本学口腔外科学教室に入室、大井教授の指導を受けその間臨牀は勿論、研究も大いになされ更に本学生理学教室で山田教授の下で歯牙の感覚についての研究に全身全霊を捧げられた。

この君の行つた実験は、歯牙の知覚の伝導が象牙質内、或いは歯髄内での程度の速度で進むものか、又球那質、象牙質、歯髄および各々の移行部の刺激に対する閾値は幾何かと云う重大な研究問題であると共に極めて困難な実験であること云う事は専門外である私にも想像される。しかしこの研究課題は齋藤君によつてなされねばならない宿命にあつたのである。これを想い起せば、本学二年の生理実習の後で実習室の一隅で山田教授に私も混えこんで問題を語り合ひ、その実験方法など共に語り合つた事に端を発し、その後、この問題は菅谷、原田助教授の学位論文となつて現われ、そして君によつて完成されたのであつた。この成功は君独特の熱心さ、努力、更に精細な観察力、粘り強さをもたらしたものであろう。

而してこの結果は慶大岡田滿教授の絶賛する所となり、去る三十一年十一月五日満場一致で教授会を通過次いで十二月二十八日には栄ある学位記を受領された。多年の拙い努力を賞讃すると共に心から祝賀申し上げる次第である。

新博士の人となりについては、何事にも屈せぬ強い精神と燃ゆるが如き熱情の持主であると共に犠牲的精神強く、困つて居る人には自分を捨て、損得抜きでこれに当る一見人の良さを持つておられる。

最近は大医学部に籍を置き、岡田滿教授の信頼篤き助手として研究に、又後進の指導にその重大な責任を果しつゝある。今後は充分に健康に御注意下されこれからの君の努力は医学部内の歯科のみならず、母校は勿論、歯科界の発展に寄与する所が大きい事を認識され、一層の御努力をお願い致します。(森山徳長記)

○主論文 一編
象牙質内知覚伝導物質並びにその歯髄内神経線維との関係について
歯科学報五六巻十号十一号

境野 良一君

同君は昭和二十年卒の五十一期会々員である。同君は母校卒業と同時に、母校保存部と病理学教室に籍をおかれ、杉山教授ならびに松宮教授の御指導を受けられたのだが、向学の熱意止み難く、さらに慶応大学医学部に進まれ、昭和二十四年三月卒業、一年間のインターンを修了して第八回医師国家試験に合格された。その後直ちに慶応大学医学部法医学部教室に入室し、中道久平教授の門下に入り、血清化学の専攻を続けられた。その間、東京都監察医務院において、病理解剖および行政検屍の業務にも従事された。

同君は学生時代から温厚篤実、常に同級生の指導として勉学に励まれていたが、今度び目出度く学位論文が、慶応大学医学部教授会において通過、栄えある学位記を受領された。衷心より御祝辞申し上げるとともに、永年の御努力に対し衷心より敬意を表する次第である。前途春風に奮む学者たる同君が益々研鑽を積まれ、医学界のみならず、全歯科界のためにも、御健闘あらんことを切に祈るものである。(高橋庄二郎記)

各地同窓のうごき

近畿連合同窓会

十一月二十三日(勤労感謝の日)恒例により今年は大阪に於て開催、榎木同窓会々頭、母校より福島、杉山両教授を迎え、一四二名の参加を得て盛大に挙行された。当日のプログラム左の通り
一、集合 正午大阪駅西口
一、リクレイション
A、シネラマ、ホリディ
O、S、劇場
B、ミュージック、ショウ
O、S、ミュージックホール
一、特別講演(於、アベノ燎泉園) 口座治療の動き

母校教授 杉山 不二氏
一、総会(於同所)司会 岩鶴 俊男
開会の辞 岩鶴 俊男
同窓会の近況報告 榎木 会頭
大学院創立状況 スライド使用
母校の近況報告 福島 教授
 杉山 教授
経過報告 当番大坂支部長 松本 績
次回開催地 和歌山支部長 明楽佐一郎氏

閉会の辞 秋岡 稔博
一、懇親会(於、同所)
午後六時より引き続き開催
兵庫代表滝木氏、大阪代表和田政吉氏、京都代表伊藤氏、昭二代会長山下氏、大阪代表十河氏、等の表出し芸、燎泉園の乙女舞踊、日本舞踊等々と紹介午後九時別れを惜しみつつ、閉会解散。

盛大な前夜祭を開催せられ、大いに氣勢を挙げられ、まだまだ足りぬとあつて若手先生方は更に渡辺先生を某処へ拉致され、彌が上にも同窓会気分を高揚されしと云々。情報屋の耳に上つた処もチョコッピリ(あんまり書くと、助教授にゴマイワク!)あはせ御報告申上げる。ア々さて、明けて当日、前報の如く秋気清き廿八日、定刻よりや遅れ、三条市第一等の料亭魚長に於て総会は開始され、例により
座長選出
支部長挨拶
来賓北村教授挨拶並びに母校の近況報告、大学院建設に関する諸状況の報告、奥村学長の近況報告、更に母校将来の諸計画等、詳細に、互に御説明をうけたまわり、母校の繁栄にして着実なる発展の現況手に取る如く了解され、会員一同意を強くし且つ又、同窓として誇り高くさえ思われた。次いで諸報告に入り
庶務報告
会計報告
大学院建設基金募集経過報告に接り、各々質疑応答あり結局満場一致了承され、次いで、協議に入り
昭和卅二年度会費徴集方法の件
次回開催地に関する件
その他
の三件につきそれぞれ懇談決定し、実行に移す事となり午前の総会は閉じられた。
昼食休憩の後
来賓講演に移り
渡辺助教らより、最近の保存臨床に活用せられてある種々製剤につき、理論と實際両面にわたり軽妙洒落にして熱のこもつた御講義を、更に北村教授により義歯製作に關し、一般要領と困難なる義歯、特殊な義歯、等につき、先生の御人柄を現わ

新潟縣支部
昭和卅一年十月廿八日、新潟県は中越の三条市に於て、東京歯科大学同窓会新潟県支部総会が開催された。この日、越路の秋は冷徹な迄晴れ渡り、絶好の日和のため、行楽、その他の行事に会員の身近又公私多事多忙、それがあらぬか出席会員は五〇名とや、少かつたが、その代り遠く高田、魚沼、東蒲、頸城方面より会員諸氏続々参集され、同学の同志一堂に会したのめさはらず東歯同窓会なるかなの感があつた。
東京母校よりも、遙々、北村勝衛教授渡辺富士雄助教、両先生御多忙の処来県せられ、地元三条同窓及び近傍の同窓より参集、先ずは

盛大な前夜祭を開催せられ、大いに氣勢を挙げられ、まだまだ足りぬとあつて若手先生方は更に渡辺先生を某処へ拉致され、彌が上にも同窓会気分を高揚されしと云々。情報屋の耳に上つた処もチョコッピリ(あんまり書くと、助教授にゴマイワク!)あはせ御報告申上げる。ア々さて、明けて当日、前報の如く秋気清き廿八日、定刻よりや遅れ、三条市第一等の料亭魚長に於て総会は開始され、例により
座長選出
支部長挨拶
来賓北村教授挨拶並びに母校の近況報告、大学院建設に関する諸状況の報告、奥村学長の近況報告、更に母校将来の諸計画等、詳細に、互に御説明をうけたまわり、母校の繁栄にして着実なる発展の現況手に取る如く了解され、会員一同意を強くし且つ又、同窓として誇り高くさえ思われた。次いで諸報告に入り
庶務報告
会計報告
大学院建設基金募集経過報告に接り、各々質疑応答あり結局満場一致了承され、次いで、協議に入り
昭和卅二年度会費徴集方法の件
次回開催地に関する件
その他
の三件につきそれぞれ懇談決定し、実行に移す事となり午前の総会は閉じられた。
昼食休憩の後
来賓講演に移り
渡辺助教らより、最近の保存臨床に活用せられてある種々製剤につき、理論と實際両面にわたり軽妙洒落にして熱のこもつた御講義を、更に北村教授により義歯製作に關し、一般要領と困難なる義歯、特殊な義歯、等につき、先生の御人柄を現わ

した懇切丁寧な御講義を拜聴し、スライドによる眼よりの知識と相俟つて、会員一同今後の臨床活動に裨益する処大であつた。深く感謝する次第である。

さて、最新の知識を吸収し、学的に満腹した午後四時、同窓同志の胸襟を開き相睦み合う懇親会が開かれた。

席を更め、一同大宴会場に着座する事しばし、地元副支部長先生の名司会により、秋気は清し、酒はよし

海外の同窓通信(第四信)

在北米ロズ市 天野 惠

米沢先生。久しくご無沙汰致しました。お変わりありませんか。わたしもお蔭様で元気に過ごして居ります昨日で南加大学の最終コースも終わりホッとして居る所です。

いよ／＼ヨーロッパ行の準備にかかりますが、その前にアメリカをゆつくり、出来るだけ見て廻ろうと思つて居ります。

こちらに於て、偶然に東歯大・学部二期卒の納富君に会い、色々とお話になり合つてやつて居ります。彼は南加大学の補綴で勉強して居ますがアバートを訪れては、みそ汁の御馳走等になります。

クリスマスも近ずき、只今クリスマス・セールで、こちらは大賑わいです。ハリウッド大通りのクリスマス・デコレーションは、世界的なものだそうですが、その大仕掛なのは驚ろかされます。

今はちょうど日本の九月頃の氣候で、一週間位前迄は華氏九十度を上下する夏の様でしたが、此一週間で大分秋らしくなりました。先日

あまつさえ当地第一級AクラスのS君連襟をひるがへして酒間をあつせんすれば、同窓志度々立つて隠し芸の御開帳に及び、渡辺先生又東京のみがきのか、つた隠し芸ならぬ商売人にはだしの表芸を御教示され、一同誠に有難く、又社会学臨床の一大知識として吸収致した次第。かくて葡萄酒談教訓に及び、最後に母校万才を三唱し会を閉じた。

両先生に深く御礼申上げる次第である。(広瀬記)

南加大学のハイスピード・テクニクのコースでは十二万回転のエンジンを組みました。これは油冷却装置をもつたミッドウエストのハンドピースで、カーバイトバーを用いたのですが、さすれば歯が融けてしまうといつた感じでした。

その他、色々と高速度のハンドピースが面白い構想のもとに出来つつあるのは興味がありました。何れも八万回転より十萬回転位のものばかり、本当にハイスピード時代です。

こちらの歯科医は、一本のハンドピースに五位位のコントロールアングルを用意して用います。又わたしの見た狭い範囲の知識ですが、感染根管の治療は、普通の歯科医師は殆んどやらす抜去してしまひます。歯髄に手をつける時、或は患者の希望で感染根管治療をやる時は、根管治療の専門医に送ります。これはチャージが非常に高価で治療根充が大抵百ドルです。主治医が専門医に払うギヤランティがありますので充填物や補綴物よりよほど高価になる為、普通の人は殆んどやりません。それに治

療を終る条件としては、細菌検査上根管が無菌となつたことの証明が必要で、治療の専門医は歯科に必要な細菌検査のセットを備えて居ります。クリスマス前にサンディエゴ、メキシコに旅行する積りで居ります。来年初めサンフランシスコ、バークレーへも一度訪れ、カルフォルニア大学の歯科等よく見学して来る積りで居ります。

南加大学は私立で、金持の子弟の学校ですが、規模はやはり州立に劣りません。それにドクター・アトキンソンを旗頭とする伝統ある矯正部が、アトキンソン教授の引退で一時期傾きされて居るのさびしい限りです。では又書きます(一九五六、二、五発信)

無二会

ク拉斯会 便り

大正二年の卒業生である無二会は四十三周年記念会を昭和卅一年十一月一日紅葉たけなわなる箱根強羅大文字ホテルに開催した。会するもの十四人他に夫人、及び娘と合計十六人、当日は午後一時参集の筈であったに教氏は前日より又他の教氏は午前中より集合した。

如何に会員の意気盛んなかをこれをもつて知られる様であつた。会合に先だち箱根観光の挙に出た。ホテルの庭に通ずる強羅駅よりケーブルカーにて早雲山に到りついでバスにて湖尻に向ふ。羊腸たる小径は或は昇り或は降りたり右に千尋の谷左に鏡々たる山、將又錦緑を以つて綴られたる紅葉の墜道を行く。黄色又は萌え出でたる如き美観を呈する紅葉も一朝の霜に遣えば落花と同じ運命を辿るに非らざるかなど人生行路に比しつ、一抹の悲哀をも感じながら八里の山路を登りゆき大浦谷の下富士見台に着く。この広場にしてしばし休憩、記念撮影をなす。写真は徳永君の肝入にて専門家一名を随行し記念アルバムを作るべく計画されてある。

噴煙のよに包まれ薄原 星香

バス疲れしほし忘れて紅葉谷 同
千石原霧に沈みて富士見台 同
穂すきや千石原へ続くらし 同
湯煙りの冠ヶ岳に夕焼ける 黒崎
秋深き尾花の浪を稍越し 同
もみち振り面がきたきかな小浦谷 同
湯煙りに紅葉かすむ大浦谷 都紫
又バスにて湖尻に向ふ。その間陸子温泉あり。同温泉は無色透明の明礬泉にて名高いとバスガールの説明であつた。湖尻では又記念撮影をした。

富士雲に声の湖は暗れ紅葉映 星香
声の湖を守りて立つや紅葉山 都紫
湖の湖を心ゆくまで賞美して今来し道の逆コースで強羅に帰る。こゝにて山形市小林兵衛君が一行に加はり暮色深き強羅公園に記念撮影をなす。

落葉かく童子に問ふや城の跡 徳永
世が世々秋を泣くまい庭の石 黒崎
山は秋昔ながらの銅瓦 同
帰館間もなく若葉君来会これにて予定人員となる。常任幹事堀江錠一君司会の下に開会をのべ座長に徳永寅藏君を指名した。座長より本会開催までの経過報告があり、四十七周年記念会より今回の記念会まで僅か三

年間に七名の級友を失つたことを告げた。即ち南条米介、池田豊、岡通愛、村瀬喜男、古谷直行、興健三、平井勘彌の諸君であるが堀江君から亡きこれ等の級友に關し詳細に追憶ありて全員声もなく起立してしばしの黙禱を捧げて心からなる祝福を祈つた。ついで徳永君より次の様な挨拶があつた。

永らく諸兄の声咳に接しなかつたが御健康なる容姿に接し誠に喜びに堪えない。この度の本会開催に當り堀江君のなみ／＼ならぬ御苦勞に對して諸君と共に衷心感謝する次第である。

議事としては、老骨も面接を重ねるに従い各自を激励奮奮する要素となる意味に於て来る昭和卅三年十一月四日又は五日に北園東鬼川温泉に次期記念会を宇都宮の黒崎博氏の斡旋の下に開催することに決定した。但し家族同伴同意のこと。

還暦のいつか心も若かへり 黒崎博
同窓の集るたびに生残り 同
なお恩師奥村先生の御快癒の一日も早からんことを祈念し、且つ心ばかりの御見舞を堀江君に托して贈呈するこゝとした。

議事終了して宴に入る。美形数人酒間を斡旋す。白髪禿頭の老人も時代ばなれの歌に昔日を偲び満場蟬騒を極め隠し芸など続出して興の尽くるを知らず夜の更くるも忘れて四十年を一足飛び学生時代に逆戻りしてのさわざぶりであつた。

打つどひうたげむしろに 四十年の昔がたりの懐しきかな 佐藤越山
紅葉渡き箱根の湯宿にうたげして昔をかたる今日の楽しきかな 同
家苞にかたみの写真とりかはしましたの逢ふ瀬を堅くまぎりつ 同
照り曇り定めなき世の我旅路心ゆた

かにその日その日を 同

膳の前には各自各地よりの名産を交換して並べ和氣霽々裡に閉会とした翌朝は堀江君の「齒齲形成より重舌まで」及び「グラスブ調製の新考案」と題して有益なる講演演示があつた自称老大家連も数々の新研究に充分教えられる所があつた。十一時までの時間の経過の早かりしを恨む者が多かつた。

無遠慮な生徒を講師もてあまし 黒崎博 初ちやんと呼ばれて老師嬉しがり 同

名残りはつきず一同再会を堅く約しお互の健康を祈りつ、帰路について

出席者氏名

伊藤初太郎、堀江鍾一、徳永寅敏、岡本吉詞、若葉清、笠原益三、横矢重包、高田実、田中敏文、黒崎博、小林与兵衛、佐塚孝一、佐藤直治、三輪充武、他に堀江敏子、伊藤高子以上(伊藤星香記)

昭二 会

母校卒業廿五週年紀念の御通知を昨暮申上ぐる筈のところ、今春の紙上に申上げます。

忘れんとしてついに忘れ得ず未だ感激よりさめざる次第です。会場は天下の国立公園箱根は湯本の天成園廿五年前の眉美はしき青年が集り、その中には二十五年振りの方も在り「ヤア／＼」の交歓、午後七時大広間に集合、通法の如く、名司会者西堀君のもとに、亡友三十四名の冥福を祈つて後当番幹事長大鶴君の挨拶あり亦河辺君より各県のクラス会員の近況報告、世話係の会務報告後緊急勸諭あり。 永年クラスの教育指導にあたられた、我等のホープ、河辺君に賞状並



に金一對、世話係の小生も賞状並に金一封永久紀念になるものと思ひながら紙上に御礼申あげます。 この前後より湯本美人が一人二人三人、総々と席に待られ。杯を重ねる毎に各人の隠し芸が始まる。金子君の扇子片手に日本舞踊には一同完全に一本技ありと云う所、演芸部長の馬淵英郎君の久々のモダンバレエには待てる者皆シミリンコンと相成つたる次第独語の文法。 チャネーガ、ダス、ダサン、ダス、ダセと各お国自慢の民謡などとは四十八才の抵抗とばかりに手を手をとつて四十肩、五十腰を忘れ華かな一夜の観を充分満喫の訳けき。それから先の出来事は神様だけが御存知と云ふわけです。 前夜祭を終え翌日一同自家用車にて本校同窓会総会出席しました。 当日の状況は河辺立原キヤマラマにより天然色記録映画として保存今年の新年宴会が二十五日の予定故くわしき事は画面に付て御説明申あげます。

北は仙台の武田元老、南は岡山の水川青年を迎え集る同志廿七名、宮崎県の上野君より結構な鮎を会場に飛行機にて御送り下され一同で風味する、サンキョー。今年の当番幹事長五十庵時雄君並に清水泰君に満場拍手のもとに決定する。

当日出席者

水川勤、武田善四郎、伊藤英雄、小池弘、松橋真一、長谷川清、笠間武雄、大森茂春、鈴木琢一、沼沢孝夫、馬淵英郎、金子博、清水孝、五十嵐時雄、榎智光、高橋信吾、渋谷一田中雄雄、橋本信義、西畑一夫、下江信一、中村真次、神頭功、大鶴悦郎、立原健彦、河辺清治、大西延治、世話係島田宗武記。 追加、我等の世話係島田君学位論文パリス。河辺記。

仁 蜂 会

東京例会報告

昭和三十年忘年会、赤坂グラウンドホテルにて十二月八日、午後七時より開催、高田、吉井、小野寺、吉峰、青木、吉枝、浅野、堤と参集一夕の欲をつくし、二次会は銀座某方面となりました。 新年会、新橋二の四四、割烹「ふくべ」で会費千円にて、一月二十六日午後六時より高田輝雄君の尽力で開催致します。奮つて参加下さい。(予告) ○秋田県大館市の本間要作君にクラス有志の罹災見舞(武万百五拾円也)を送りましたところ、お礼状が参りました。 ○同窓会例会には万障繰合せ、御出席下さい。 ○会員名簿は近く出来上りますので発送致します。 ○写真アルバム用写真未送の方は至急幹事に御送り下さい。なおこの費用(千五百円)をお忘れなく(提記)

完全治療の決定版

関根教授御指導

乾熱滅菌器

—30秒で無菌操作ができる—

- 花沢式裏装充填器
- 杉山式膿漏スケーラー
- 関根式根管充填器
- 木村式歯齲切除刀
- アルギン注入器
- アマルガム充填器
- その他在庫豊富

上島齒科精器製作

台東区西黒門町17番地 TEL (83) 3394

大好評の新製品

ザロカインパスタ

塗布麻酔には…すぐ効く! ザロカイン パスタ を御使用下さい。

麻酔…コカインの約10倍でその効果は極めて早く深く且持続性がある。

消毒…麻酔と消毒を同時に行うことができ着色してあるので塗布部を明瞭に確認できる。

容器…特殊容器により、操作が確實簡便に必要な最適量を塗布し得る。

〔包装〕…セット 2.5g 入塗布容量 1ヶ 麻酔剤 5g 入チューブ 付 ¥ 400 …補充用 5g 入チューブ ¥ 200

ネオ製薬工業株式会社 東京都渋谷区宮前町30番地 電話 青山(40) 3768 番